

主な内容

- 1P. 一中地区の古墳を訪ねました!
- 2P. 桜の花から、元気と希望を
もらいましょう!
- 3P. 私のひとりごと・私のふるさと
- 3P. 地域のわだい
- 4P. お庭拝見・歴史探訪・部会だより

ふれあい

●発行所/ひたちなか市長堀町3-4-1 (1中地区コミュニティセンター内) ☎029-275-2671 ●発行責任者/坂井 久彦 ●編集/広報委員会

一中地区の古墳を訪ねました!

新型コロナウイルス感染症の終息が見通せない中、予定していた芸能音楽祭が中止となり、掲載ができなくなりました。家の中での生活時間が増えているこの頃ですが、思い切って自然の中へと出してみました。

私たちの周りには、かつて多くの古墳がありました。これらの多くは土地開発により失われてしまいましたが、今でも一中地区には約30基が残っています。しかし、ほとんどが樹木に覆われ、なかなか存在に気が付きません。ここでは、代表的な3ヶ所を紹介します。

笠谷古墳群 10基

一番大きな6号墳は、前方後円墳。長さ約43m高さ約5mで、石棺・直刀等が出土。築造は推定6世紀末。



6号墳 (左写真の緑矢印方向から見る)

実測図

三反田古墳群

(1) 羽黒支群 3基

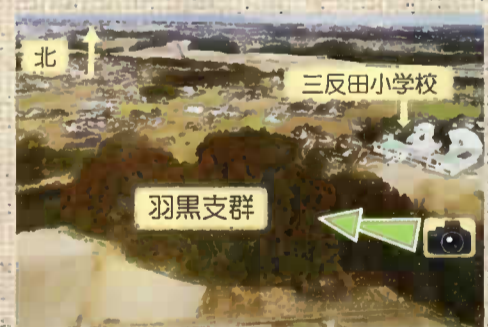
(注意) 笠谷古墳群と羽黒支群は私有地内にあるため、安易に立ち入らないようお願いします。



1号墳 (右写真の緑矢印方向から見る)

実測図

一番大きな1号墳は、前方後円墳。長さ約30m、高さ約4m。築造は推定7世紀。



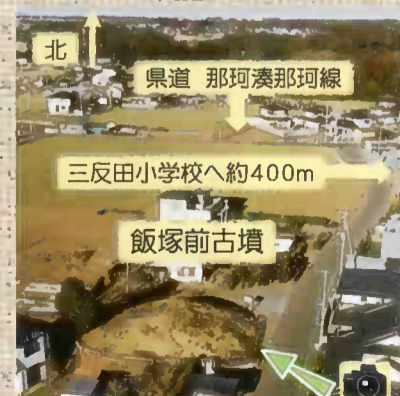
(2) 飯塚前古墳 (市指定史跡)

住宅地の中にある古墳。ブルドーザーで土砂採取作業中、横穴式石室の入り口を発見。築造は推定6~7世紀。



(右写真の緑矢印方向から見る)

実測図



参考資料「勝田市史」別編Ⅱ考古資料編

桜の花 から、元気と希望をもらいましょう!

どんなに冬が寒くても、春は必ずやって来ます。桜の🌸は季節を忘れずに、華やかな姿を見せてくれます。長いコロナ禍での生活をひととき忘れて、近くの桜の🌸を見に出かけてみませんか!?



石川運動広場



武田第2公園



東石川第4公園



ふぁみりこらぼ



クリスタルパレス周辺



勝田一中



西中根 吉田神社境内



長堀公園



中根駅



ひたちなか海浜鉄道線路沿いの桜



勝田工高の校庭

掲載している写真は、広報委員が近年に撮影したものです。一中地区にはこの他にも、たくさんの桜の名所があります。人知れずひっそりと咲いている桜もあることでしょう。コロナウイルス感染対策を心がけながら、この時期ならではの風景をお楽しみください。

私のひとりごと

大相撲観戦記

三反田自治会
鈴木 敏之

大相撲は年6回開催されます。

1・5・9月場所は、東京両国国技館（以下国技館）、3月は大阪、7月は名古屋、11月は福岡でそれぞれ開催されます。私は大相撲が大好きで、学生時代の友人にチケットを手配してもらえ、10年程前から国技館に足を運んでいます。1月場所（以下初場所）を中心に2回観戦します。最近は大相撲の人氣が高く、なかなか初日のチケット購入ができません。以前は、初場所初日の取り組みをマス席で見ることができました。5年前の初場所初日の取り組みでは、上皇・上皇后両陛下（当時の天皇・皇后両陛下）が身を乗り出し、観戦されていました。

私は酒を飲みながら、大声を出すことでフィーバーしていました。また、取り組み表でどちらの力士が勝つか予想するのも楽しみます。しかし、この2年間は新型コロナウイルス感染防止のため、入場者数は5000人まで。会場入り口では検温・手指を消毒。館内ではマスクの着用、大声での声援を禁止、応援は拍手、食事・アルコールの持ち込みは禁止。一日も早い新型コロナウイルス感染の終息を願うばかりです。

大相撲観戦に興味がある方は、ぜひ国技館へお出掛けください！



勝田駅前南自治会に思う

勝田駅前南自治会

永盛 啓司

本自治会は、平成3年4月1日に泉町・表町・春日町が合併してできました。自治会加入世帯数は合併時約450世帯でした。その後は減り続け、平成20年にマンションの建設により約110世帯増えましたが、それでも現在は約400世帯です。高齢者クラブと子ども会は合併後もそれぞれの町内にありましたが、少子化と担い手不足により残念ながら現在はありません。

活動の拠点である集会所は、企業が昭和58年に建築してくれたものを無償で借用していました。平成22年に土地は有償、家屋は無償により取得し、課題であった集会所の自治会所有が実現できま

した。コミュニティや自治会の活動は、人をつなぐ重要な場です。人は対面話をし、行動を共にすることにより、連帯感が生まれ絆が深まるものです。コロナ後の社会がどうなるかは分かりませんが、大都市のような無縁社会になることだけは避けなければなりません。早く地域活動が再開し、「遠くの親戚より近くの他人」という言葉が生き続けることを願っています。



工機前駅近くにある集会所「勝田駅南会館」

私のふるさと

勇壮な常陸大津の御船祭

東中根団地自治会 堀江 博志

私の故郷は茨城県の北部、小さな漁港がある大津町です。六角堂・茨城県天心記念五浦美術館等もあります。

小さい頃は、初冬になるといわし漁が盛んになり、活気があふれていました。中羽は頼刺し（ほうどし）に、小さい背黒は煮干しにして、東京などに出荷されていました。父が漁師をしていたこともあり、この背黒を網いっばい持ち帰って来たときは、つみれ団子や手で剥いで刺身にして食べていました。酒が飲める大人だったら、さぞかしおいしかったと思います。時々、アンコウも持ってきて、母がつるし切りで捌いてくれました。

小学生の頃は、近所の子供たちとべった（めんこのこと）やビー玉、投げコマ（喧嘩コマ）で遊んでいました。一番の楽しみは、5月10日に行われていた町のお祭り「御船曳き」です。漁港近くの小高い丘の上にある佐波波地祇（さわわちぎ）神社から、神を乗せた神輿を男たちが担ぎ、町の中を練り歩き、待たせてある神船に乗せ、そこから漁港までの御船曳きが始まります。囃し手は乗船したままで、20〜30人の男たちが神船の両側にぶら下がり船を左右に揺らし、300人近い曳き手で道路に敷いたそろばん（木の柀）の上を一気に走らせます。笛・太鼓が激しく響く！ 船を揺らす男たちの歓声！曳き手の歓声！ そろばんの焦げる匂い！ 神船が走る！走る！ およそ7トンの船が路上を走る姿は、迫力満点です。小太鼓は、小学生が化粧・着飾りして叩きまです。「一度このメンバーに選ばれたらなあ」と思っていました。残念！！



地域のわだい

活動を縮小して続けている六美会

西中根自治会 六美会会長 海野 吉輝

新型コロナウイルスの影響により主な活動をやむを得ず中止するなかで、月1回「西中根観音堂霊園」の清掃活動を続けています。さらに、当番制で月2回ごみ集積所の清掃も行っています。墓参に来られた方々から感謝の言葉をいただき、励みになっています。

また、高ヶ連会長杯スポーツ大会予選会・市長杯高齢者スポーツ大会が行われ、グラウンドゴルフの部に

出場しました。11月には、3密を避けて2年ぶりに「いこいの村沼沼」でスポーツ大会を開催し、22名参加でグラウンドゴルフと輪投げを行いました。好スコアが出た時は、言葉でなく身振り手振りで、喜びを伝え合いました。

「孤独ゼロ」を目標に、地域との交流を大切に、活動を継続していきたいと願っています。



まちを元気にしたい

東石川小学校

6年生は「総合的な学習の時間」に、商店街の活性化のためにできることを考えました。

前期は、まちづくり株式会社の方々からお話を聞き、TAMARIBA横丁の意義を知りました。コロナ禍でもできることは何か、各学級で話し合いを重ねました。

訪れる人に楽しんでもらおうと、

10月には商店街の方々と葉ボタンやパンジーを植え、1月にはベンチの木材の塗装を行いました。この木材を表町商店街青年部の方々が組み立ててくださり、新しくなったベンチを表町各所に設置しました。同時に清掃や花壇の草取りを行い、「これからも地域に貢献したい」という思いを強くしました。



お庭拝見 大平自治会



整えられた植栽の前庭



ツゲが並ぶ玄関前

大貫さん宅



手作りの板塀と黒竹に残雪の載る庭石



小石を敷いた庭

渡邊さん宅



紅白絞りの花が咲く椿の木



金柑の大木と夏ミカン、花柚子などの柑橘樹

谷田部さん宅



フェンスに絡むブラックベリーと水仙

戸田さん宅



塀越しの紅梅

打越さん宅

歴史探訪

天狗党の乱(3) 最終回

窮地に立った天狗党は起死回生を図るため、当時京都にいた一橋慶喜に会って、朝廷に尊王攘夷の志を伝えようと西上を決意しました。武田耕雲斎を総大将、藤田小四郎を副将として1000人余りの大部隊を編成し、1864年11月1日に京都を目指して大子村を出立しました。

諸藩の追撃を避けながら美濃まで進みましたが、追討諸藩が街道を封鎖していたため越前へと大幅に迂回。荷物を運ぶ馬と共に大砲を背負い雪に覆われた難所の蠅帽子峠を越えるなど考えるのも狂気の沙汰で、誰もが不可能と思っていました。ところが、一行は奇跡的に峠を越えて越前に着きました。しかし、追討軍の包囲網の中に孤立。さらに、頼みの一橋慶喜が幕府追討軍の指揮を執っていたことに、天狗党の首脳は愕然としました。

12月16日、耕雲斎ら823人が前方を封鎖していた加賀藩に降伏。50余日約900kmの行軍は、終わりを告げました。

当初は加賀藩士達により、好意的な待遇を受けた天狗党でしたが、田沼意尊が天狗党の処分を一任されてから処遇は激変し、敦賀の船町にある鍊蔵に50人ずつ詰め込まれました。蔵の窓は全て釘づけにされて室内は暗く、中はむしろを敷いただけ、便所は中央に桶を置くだけという有様。食事は朝夕むすび1個にぬるま湯だけ。厳しい寒さと劣悪な環境が原因で24人が病死しました。田沼のやり口は異常に残酷非道なものでした。

田沼は永覚寺に白洲を設けましたが、吟味は全く形式だけで、天狗党に下された判決は、死罪352人、遠島132人、水戸渡し130人、永蔵寺預け11人、構いなく追放187人、というものでした。

水戸では、赤沼牢に投獄されていた天狗党の女・子供を含む家族らが、諸生党によってつぎつぎと処刑されました。

3年後に江戸幕府が滅びて明治維新になると、小浜藩に預けられていた武田耕雲斎の



孫、武田金次郎らは朝廷から罪を許され水戸へ帰国します。

金次郎らは朝廷から諸生党追討の勅命を取り付け、諸生党に対して激烈な報復を開始し、殺戮を繰り返しました。

こうして幕末の水戸藩は、尊王攘夷思想の魁でありながら、内部抗争で有為な人材をことごとく失ってしまいました。明治政府が成立したとき、その要職に就いた水戸藩出身者は一人もいませんでした。

参考資料

- 「天狗党の跡を歩く」 鈴木茂乃夫 著
- 「水戸天狗党物語」 山口武秀 著
- 「天狗争乱」 吉村 昭 著
- 「流星の如く」 瀬谷義彦、鈴木暎一 著
- 「勝田市史」(中世編、近世編)



天狗党が監禁された鍊蔵(敦賀)



武田耕雲斎らの墓(敦賀)

天狗党の乱のまとめ

- *天狗党とは、水戸藩の後継者争いで、徳川慶喜の父「徳川斉昭」を支持した一派のこと。
- *諸生党とは、水戸藩の保守・門閥派。幕末に市川三左衛門らを中心に、天狗党と抗争を繰り返した。
- *天狗党の乱とは、水戸藩の尊王攘夷派だった天狗党が、攘夷(外国勢力を武力で打ち払う)を強行しようとして起こした反乱。
- *天狗党はその後、京都へ向かって「一橋慶喜」へ尊王攘夷を訴えようとしたが失敗。最期は加賀藩に投降し、352名が処刑された。

天狗党の乱に感じたこと

なぜ水戸藩にかぎって、ああいう救いのない凄惨な内戦が繰り返されたのか。いったいあの惨劇はなぜ起こったのか、あの悲劇に何の意味があったのか。これほど徹底して見当

部会だより

体育部会

新型コロナウイルス感染予防で延期されていた第45回一中地区ソフトボール大会が、12月4日那珂湊運動公園で開催された。

コロナの影響で、今年度の体育部会最初の行事となったが、大会には5チーム74名が参加して行われた。当日は天候に恵まれ、12月にしては寒くもなく白熱した試合が展開された。

成績は次の通り
優勝 三反田
二位 ソフトボールクラブ
三位 中根ダイヤモンド
四位 長松ソフト
五位 金上ユナイテッド
富士山ストロング



青少年部会

12月4日、親子わくわく自然体験事業として、勝田一中の体育館とグラウンドで「星空かんざつ会」を実施した。大好評で、子ども58人を含む134人が参加した。天候にも恵まれ、天体望遠鏡で土星の環を生で見たり驚きの声をあげていた。講師はJAXA宇宙教育リーダーの方にお願ひし、「見上げよう！夜空の星を！」の講義に親子一緒に聞き入った。



編集後記

3年目に入るコロナ禍での制限された生活。昨年末には、コロナ感染者が減り部会などの行事ができたことが嘘のように、今年に入ってからオミクロン株感染者が増えました。またもや地域や部会の行事がなくなり、一中地区「芸能音楽祭」が3度目の中止。でも、この広報紙「ふれあい」は一度も休刊しないで何とか発行し続けています。次号には、会の行事等の記事がより多く掲載できるように切に願っています。

広報委員 伊藤 昇